



＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

平成29年6月2日(金)

練馬区立豊玉第二小学校

校長 佐野 匡

豊二小だより 6月号

力試し

校長 佐野 匡

月曜日から昨日まで6年生が移動教室に行ってきました。普段あまり歩かない山道を歩いたり、飯ごう炊爨でカレーを作ったり、天気にも恵まれて予定していた内容を十分に実施することができました。活動の中では、豊玉東小と一緒にカーリング体験や、開進第四小と宿舎を共にするなど他校の6年生の様子を知る機会にもなりました。

このような学校行事は子供たちにとってとても楽しい時間です。私たち大人が、子供の時の思い出を振り返るときにもやはり、運動会や学芸会、移動教室や修学旅行といった学校行事にかかわることがとても多いです。これらの学校行事は日常の学校や家庭での生活で付けた力を試す場です。実際の活動から、学んだことが自分たちの力になっているのかを知ることができます。そして、次への課題を発見する場でもあります。

今回の移動教室で6年生が素敵だったことを2つ紹介します。

時間を守って行動できる。

しおりをみながら、班で声を掛け合って集合時刻に全員が集まりました。スケジュール上活動と活動の間がぎりぎりの所もたくさんありました。豊二小の6年生は集合時間に遅れることは4日間の中で一度もありませんでした。

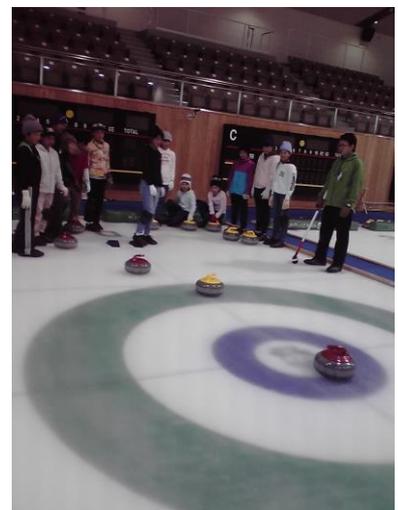
他の人のよいところを素直に認められる。

友達のよいところと共に、他の学校の人のよいところを見つけられました。相手のことを素直に認められるとよい人間関係ができます。逆に、自分に自信がないと相手を責めてしまいます。豊二小の6年生は友達や他の学校のよいところを言葉や態度で認められていました。

これらのことは、日常の積み重ねとして移動教室の中で見られた姿です。行事の時だけががんばることはできません。紹介した2つの姿は本当の意味で定着した力だと感じました。この1年の中でどの子供たちもたくさんの行事を経験します。豊二小では行事を通して日常の力試しをしっかりさせ、そこから見つけた課題でさらに成長を促す。そのような学校行事を実施していきます。



とてもよい天気の中歩いた車山



豊東小と一緒にカーリング